

## はじめに

平成27年度(2015年度)の調査・研究を終え、紀要110号を「研究報告書」としてまとめるにあたり、関わっていただいた皆様にお礼申し上げます。

社会や経済のグローバル化、高度情報化が一層進展する変化の激しい中、社会において自立的に生きる基礎を培い、子どもの学習意欲を増進させ、「確かな学力」を確立するとともに、「豊かな心」「健やかな体」を育み、それらを基盤として「生きる力」の育成を図ることが、教育に強く求められています。

本市におきましては、今年度中間見直しをされました「わが都市すいたの教育ビジョン」を柱とし、「生命かがやき ともにつながり 未来を拓く 吹田の教育」を基本理念として学習活動や学校・園運営、地域連携等の改革に取り組み、「地域に根ざした質の高い公教育の創造」に努め、次世代を担う子どもたちに困難に打ち克つてくじけない「知」「徳」「体」の調和の取れた「総合的人間力」の育成をめざしています。

そのような中、吹田市立教育センターにおきましては、本市の学校教育の向上を図ることを目的として昭和62年に設置され、教職員研修事業、教育相談事業、学校情報教育ネットワーク構築事業・情報教育推進事業と併せて、調査・研究事業に取り組んでいます。

中でも、本市が取り組んできた教育を継承し、さらに充実させていくため、研究グループでは学校・園の教職員のみなさまに研究員を委嘱し、スーパーバイザーの先生方のご指導のもとに、調査・研究を進めてまいりました。今年度は、小学校1年生段階での「読み」「書き」「計算」におけるつまずきを分析し、そのつまずきに応じた支援教材の作成を研究する「発達理解研究」、タブレットパソコンや既存の情報機器の授業活用の促進を研究する「ICT活用研究」、本市の進める小中一貫教育の実施プランⅡの重点項目の一つとしてあげる各中学校ブロックでの『授業改善に向けた小中合同研究』のモデルとなることをめざした11の教科・領域に及ぶ幼小中一貫教育カリキュラムを研究する「幼小中一貫教育カリキュラム研究」、といずれも2年目のまとめの研究に取り組んできました。そしてここに、研究員の方々に熱心に研究に取り組んでいただき、平成27年度(2015年度)の紀要110号「研究報告書」として、それぞれの研究内容をまとめております。

今後とも、吹田の子どもたちが新しい時代を生き抜くために求められている「総合的人間力」の育成に向けた教育実践を進めるため、教育センターとしての更なる学校・園支援に努めるとともに、さまざまな教育課題についての調査・研究等の推進に取り組み、その成果を発信してまいります。

最後になりましたが、スーパーバイザーの先生方をはじめ、ご理解とご協力をいただいた学校・園の関係者のみなさま、そして、研究員として委嘱させていただいた教職員のみなさまに、厚くお礼を申し上げます。

平成28年(2016年)3月

吹田市立教育センター  
所長 村上 晃人